令和6年第9回会津若松市農業委員会 総会議事録

- 1 日時 令和6年9月20日（金）午前9時
- 2 場所 会津若松市河東支所2階大会議室
- 3 委員 農業委員 19名
農地利用最適化推進委員 18名
- 4 出席した農業委員 17名

1番委員	長谷川 泰道	2番委員	大竹 吉弘	3番委員	古川 正俊
4番委員	春日部 一視			6番委員	大島 光信
7番委員	庄司 遼	8番委員	二瓶 正貴	9番委員	多田 善信
10番委員	室野井 建一	11番委員	渡部 一夫	12番委員	折笠 康裕
13番委員	佐野 和枝	14番委員	武田 久美子	15番委員	星 俊典
16番委員	渡邊 直也	17番委員	手代木 久司	18番委員	佐々木 隆夫

出席した農地利用最適化推進委員 18名

1番委員	梶内 徳仁	2番委員	中島 吉郁	3番委員	渡部 義勝
4番委員	長谷川 幸栄	5番委員	山田 千代志	6番委員	田代 新一
7番委員	齋藤 俊紀	8番委員	渡部 清	9番委員	平塚 与八
10番委員	高橋 一浩	11番委員	島影 盛継	12番委員	本田 武史
13番委員	菅井 洋一	14番委員	佐藤 恒男	15番委員	渡部 政治
16番委員	高橋 一美	17番委員	渡部 裕末	18番委員	奈良橋 渉

- 5 欠席した農業委員 2名

5番委員	荒井 重隆	19番委員	渡部 政美		

欠席した農地利用最適化推進委員 なし

- 6 出席した事務局職員

事務局長	二瓶 潔	事務局次長	酒井 康之	主任主査	五十嵐 功一
主任主査	慶徳 幸一郎	主事	渡部 由華子		

- 7 出席した執行機関職員（農政部農政課）

主査	長谷川 研人	主事	相田 千春		

農業委員会事務局 (事務局長)	開会前にご報告いたします。 本日は、渡部政美会長が体調不良のため、総会を欠席しております。 農業委員会等に関する法律第5条第5項において「会長が欠けたとき又は事故があるときは、委員が互選した者がその職務を代理する」と規定されていることから、佐々木隆夫会長職務代理者の議事進行により会議を進めていただきます。 よろしくお願いいたします。
議長 (会長職務代理者)	佐々木でございます。今ほど事務局より報告がありましたとおり、本日、渡部会長が不在でございますので、議長を努めさせていただきます。
議長 (会長職務代理者)	只今より、令和6年第8回会津若松市農業委員会総会を開会いたします。
議長 (会長職務代理者)	本日、出席の農業委員は17名でありまして、定足数に達しております。 また、総会会議規則第18条の規定により出席を求めたところ、農地利用最適化推進委員の出席は18名であります。
議長 (会長職務代理者)	次に、本日の会議日程について申し上げます。 日程については、あらかじめ印刷の上、申し上げているとおりであります。ご了承願います。
議長 (会長職務代理者)	次に、本日の議事録署名委員の指名を行います。 署名委員については、総会会議規則第21条第2項の規定により私からご指名したいと思いますが、ご異議ございませんか。
議長 (会長職務代理者)	(異議なし の声あり)
議長 (会長職務代理者)	満場ご異議ないものと認め、ご指名申し上げます。 農業委員11番 渡部 一夫 委員、同じく12番 折笠 康裕 委員、以上2名の方をご指名申し上げます。
議長 (会長職務代理者)	それでは議事に入ります。 はじめに、議案第38号 農地法第3条の規定による許可申請について を議題とし、事務局の説明を求めます。
農業委員会事務局	総会資料の2ページをお開きください。 議案第38号 農地法第3条の規定による許可申請について であります。 この案件は、農地法第3条第1項の規定による許可申請書を受理したことから、同条同項の規定により、農業委員会の議決を求めます。説明は以上です。
議長 (会長職務代理者)	事務局の説明が終わりました。 次に、各提出案件について、各班担当委員の調査報告を求めます。 まず、川南班担当委員より1番について報告願います。
(推進委員4番) 長谷川幸栄 委員	議案第38号の1番について、推進委員4番長谷川幸栄より、ご報告いたします。 詳細につきましては、議案書記載のとおりであります。 1番の案件につきましては親族間での農地の所有権の移転を許可しようとするものです。 調査月日は、9月14日午前10時より、担当委員3名が申請書記載内容について農地法第3条第2項各号の不許可要件を現地調査チェック表により各項目ごとに調査を実施した結果、何ら異議無いものと認められましたのでご報告いたします。
議長 (会長職務代理者)	次に、堂島班担当委員より2番から3番について報告願います。
(農業委員1番) 長谷川泰道 委員	議案第38号の2番から3番について、農業委員1番長谷川泰道より、ご報告いたします。 詳細につきましては、議案書記載のとおりであります。 2番の案件につきましては農家への農地の所有権の移転を許可しようとするもので、3番の案件につきましては認定農業者への農地の所有権の移転を許可しようとするものです。 調査月日は、9月15日午後3時より、担当委員3名が申請書記載内容について農地法第3条第2項各号の不許可要件を現地調査チェック表により各項目ごとに調査を実施した結果、何ら異議無いものと認められましたのでご報告いたします。
議長 (会長職務代理者)	各班担当委員からの調査報告が終わりました。 本件について、ご質問等ございませんか。

<p>(推進委員 15 番) 渡部政治委員</p>	<p>2 番の畑の贈与とのことですが、これは親族間の贈与なのか、譲渡人が耕作できないとのことでの贈与なのかお聞かせください。</p>
<p>(農業委員 1 番) 長谷川泰道 委員</p>	<p>お答えします。親族間での贈与ではありません。</p>
<p>議長 (会長職務代理者)</p>	<p>それではお諮りいたします。議案第 38 号 農地法第 3 条の規定による許可申請については、これを原案のとおり、許可と決することにご異議ございませんか。</p>
<p>議長 (会長職務代理者)</p>	<p>(異議なし の声あり)</p>
<p>議長 (会長職務代理者)</p>	<p>満場ご異議ないものと認めます。 よって、議案第 38 号 農地法第 3 条の規定による許可申請については、許可するものと決せられました。</p>
<p>議長 (会長職務代理者)</p>	<p>次に、議案第 39 号 農地法第 5 条の規定による許可申請について を議題とし、事務局の説明を求めます。</p>
<p>農業委員会事務局</p>	<p>総会資料の 6 ページをお開きください。 議案第 39 号 農地法第 5 条の規定による許可申請について であります。 この案件は、農地法第 5 条第 1 項の規定による許可申請書を受理したことから、同条同項の規定により、農業委員会の議決を求めるものです。説明は以上です。</p>
<p>議長 (会長職務代理者)</p>	<p>事務局の説明が終わりました。 次に、提出案件について、担当委員等の調査報告を求めます。 まず、高野班担当委員より報告願います。</p>
<p>(農業委員 4 番) 春日部一視 委員</p>	<p>農業委員 4 番春日部一視より、議案第 39 号の 1 番について報告いたします。 申請の詳細は議案書記載のとおりであります。 この案件につきましては、農地法第 5 条第 1 項の規定に基づき、再生可能エネルギー事業として太陽光発電設備を整備するため、賃借権の設定をするものです。 農地区分については、第 2 種農地の「その他」に該当するため、転用許可可能なものであります。</p>
<p>議長 (会長職務代理者)</p>	<p>なお、これは合同調査でありまして、9 月 18 日午前 9 時 50 分から、農地部会より折笠部長、渡部副部長、大竹委員の 3 名の他、地区委員 3 名、事務局 1 名の計 7 名で実施したものであります。 本件については、農振法・都市計画法は手続き不要、土地改良区は協議済であり、事業達成の確実性など転用許可の一般基準からも特段異議ないものと認められました。報告は以上です。</p>
<p>議長 (会長職務代理者)</p>	<p>次に、八田班担当委員より報告願います。</p>
<p>(推進委員 1 番) 梶内徳仁 委員</p>	<p>推進委員 1 番梶内徳仁より、議案第 39 号「農地法第 5 条の規定による許可申請について」の 2 番について報告いたします。 申請の詳細は議案書記載のとおりであります。 この案件につきましては、農地法第 5 条第 1 項の規定に基づき、再生可能エネルギー事業として太陽光発電設備を整備するため、賃借権の設定をするものです。 農地区分については、第 2 種農地の「その他」に該当するため、転用許可可能なものであります。</p>
<p>議長 (会長職務代理者)</p>	<p>なお、これは合同調査でありまして、9 月 18 日午前 9 時 15 分から、農地部会より折笠部長、渡部副部長、大竹委員の 3 名の他、地区委員 2 名、事務局 1 名の計 6 名で実施したものであります。 本件については、農振法・都市計画法は手続き不要、土地改良区は協議済であり、事業達成の確実性など転用許可の一般基準からも特段異議ないものと認められました。報告は以上です。</p>
<p>議長 (会長職務代理者)</p>	<p>また、本件につきましては、農地部との合同調査となっておりますので、農地部長より調査報告願います。</p>
<p>(農地部長) 折笠 康裕 委員</p>	<p>農地部で調査を行った結果、何ら異議がないことをご報告いたします。</p>
<p>議長 (会長職務代理者)</p>	<p>各班担当委員及び農地部長からの調査報告が終わりました。 本件について、ご質問等ございませんか。</p>
<p>(推進委員 10 番) 高橋一浩 委員</p>	<p>2 番の管理地が 1,000㎡以上ありますが、管理地とはどういうものか教えていただきたいです。</p>

農業委員会事務局	<p>事務局から説明します。 今回の2番の管理地ですが、資料の図面で言いますと整形地というよりは不整形な形になっております。現場を見ていただいた方には分かりますが、実際にはこちら四つの平場に分割されており、尚且つ1筆1筆の間に1~1.5m程の法面なども構成されておりまして、そちらの形状を活かしたまま平場の部分だけを利用して設置する計画となっております。1番の高野は整形地なんですけども、2番は上手く活用するというのがなかなかできないものでして。平場の部分だけ利用する+@の中でどうしても出てきてしまう端数のエリアの部分を管理しながら今回の転用を実施するということになっております。</p>
(推進委員10番) 高橋一浩 委員	<p>建物を立てる予定等では無く、草を刈り管理していくといった土地でしょうか？</p>
農業委員会事務局	<p>おっしゃる通りです。</p>
(推進委員14番) 佐藤恒男委員	<p>1番についてお伺いいたします。調整区域で農振除外地だと思えますけれども、太陽光パネルの下に畑作物は作らなくてもよろしいのでしょうか？そういった条件はついていないのでしょうか？</p>
農業委員会事務局	<p>今回申請があった部分につきましては恒久的な転用を想定しながら先方としては20年間の借用というかたちになっております。 通常転用の説明で言いますと、それは営農型太陽光発電と言いまして、下で作物を作りながら上で太陽光発電をするといった分類になります。今回はあくまで太陽光パネルを設置するだけの転用となっておりますので、周囲が住宅地等に囲まれて農地との連結が見られていない場所のためこういった転用が可能という判断が法律上できますので、今回は下部で作物を作らないというような形になっております。</p>
(推進委員14番) 佐藤恒男委員	<p>はい。わかりました。ありがとうございます。</p>
農業委員会事務局	<p>追加の説明ですが、本日お渡ししたパンフレットに関連するような内容を記載させていただいております。お時間とれる時に確認していただければと思います。</p>
議長 (会長職務代理者)	<p>他にご質問ありませんか。 それではお諮りいたします。議案第39号 農地法第5条の規定による許可申請については、これを原案のとおり、許可と決することにご異議ございませんか。</p>
議長 (会長職務代理者)	<p>(異議なし の声あり) 満場ご異議ないものと認めます。 よって、議案第39号 農地法第5条の規定による許可申請については、許可するものと決せられました。</p>
議長 (会長職務代理者)	<p>次に、議案第40号 農用地利用集積計画の決定について を議題といたします。はじめに、事務局の説明を求めます。</p>
農業委員会事務局	<p>総会資料の9ページをお開きください。 議案第40号 農用地利用集積計画の決定について であります。 この案件は、旧農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定により、農用地利用集積計画の決定をを求めるものです。説明は以上です。</p>
議長 (会長職務代理者)	<p>事務局の説明が終わりました。 次に、各提出案件について、各班担当委員の調査報告を求めます。 まず、南四合・町北班担当委員より1番について報告願います。</p>
(推進委員14番) 佐藤恒雄 委員	<p>推進委員14番佐藤恒雄より利用権設定の1番について、ご報告いたします。 1番の案件につきましては、農家に対する利用権設定です。 9月13日午前9時30分より、担当委員3名が申し出の内容について調査を行った結果、何ら異議がないものと認められましたのでご報告いたします。</p>
議長 (会長職務代理者)	<p>次に、神指班担当委員より2番から3番について報告願います。</p>
(農業委員3番) 古川正俊 委員	<p>農業委員3番古川正俊より、利用権設定の2番から3番について、ご報告いたします。 これらの案件は、いずれも認定農業者に対する利用権設定です。 申し出の内容につきましては、9月14日午前8時より、担当委員2名が調査を行った結果、何ら異議がないものと認められましたのでご報告いたします。報告は</p>

議長（会長職務代理者）	以上です。
（農業委員7番） 庄司遼 委員	最後に、門田班担当委員より4番から11番について報告願います。 農業委員7番庄司遼より利用権設定の4番から11番について、ご報告いたします。 4番から7番、10番から11番の案件につきましては、農家に対する利用権設定で、8番から9番番の案件につきましては、認定農業者に対する利用権設定です。9月17日午後5時より、担当委員3名が申し出の内容について調査を行った結果、何ら異議がないものと認められましたのでご報告いたします。
議長（会長職務代理者）	各班担当委員からの調査報告が終わりました。 本件について、ご質問等ございませんか。 （なし の声あり）
議長（会長職務代理者）	それではお諮りいたします。議案第40号 農用地利用集積計画については、これを原案のとおり、決定することにご異議ございませんか。 （異議なし の声あり）
議長（会長職務代理者）	満場ご異議ないものと認めます。 よって、議案第40号 農用地利用集積計画については、原案のとおり決せられました。
議長（会長職務代理者）	次に、議案第41号 農用地利用集積等促進計画（案）に関する意見についてを議題とし、事務局及び農政部農政課の説明を求めます。
農業委員会事務局 （局長）	総会資料の11ページをお開きください。 議案第41号 農用地利用集積等促進計画（案）に関する意見について でありませんが、農地中間管理事業の推進に関する法律第19条第3項において、「市町村が農用地利用集積等促進計画（案）を定めようとするときは、当該市町村の長は農業委員会に意見を聴くものとする」と規定されており、令和6年8月30日付け、6農政第734号にて会津若松市長より意見を求められております。 詳細につきましては、農政部農政課の担当者よりご説明申し上げます。
農政部農政課	日頃より、農業委員、農地利用最適化推進委員の皆様には、本市農政事業にご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。 議案第41号農用地利用促進計画（案）について、農地中間管理事業の推進に関する法律第19条第3項の規定に基づき、農業委員、農地利用最適化推進委員の皆様にご審議いただきます。 9月総会の案件は、一般地区になります。 12ページをご覧ください。 当該案件につきましては、担い手が新たに農地を賃借する新規契約となっております。 詳細な内容は、議案書記載のとおりであります。 以上で説明を終わらせていただきます。
議長（会長職務代理者）	事務局及び農政課からの説明が終わりました。 本件について、ご質問等ございませんか。 （なし の声あり）
議長（会長職務代理者）	それではお諮りいたします。議案第41号 農用地利用集積等促進計画（案）については、「意見なし」とすることにご異議ございませんか。 （異議なし の声あり）
議長（会長職務代理者）	満場ご異議ないものと認めます。 よって、議案第41号 農用地利用集積等促進計画については、異議のない旨を回答することといたします。
議長（会長職務代理者）	次に、議案第42号 租税特別措置法第70条の6第1項の規定に基づく「引き続き農業経営を行っている旨の証明書」及び「引き続き特定貸付を行っている旨の証明書」の交付について を議題とし、事務局の説明を求めます。 総会資料の13ページをお開きください。

<p>農業委員会事務局</p>	<p>議案第42号 租税特別措置法第70条の6第1項の規定に基づく「引き続き農業経営を行っている旨の証明書」及び「引き続き特定貸付を行っている旨の証明書」の交付についてであります。 この案件は、相続税の納税猶予の特例を適用している者が、引き続き、特例の適用を継続するためには、過去3年間において農地を農地として適切に管理又は特定貸付していることが要件とされており、その証明書の交付の可否についてご審議いただくものです。説明は以上です。</p>
<p>議長（会長職務代理者） （農業委員13番） 佐野和枝 委員</p>	<p>事務局の説明が終わりました。 次に、提出案件について、南四合・町北班担当委員の調査報告を求めます。</p> <p>議案第42号について、農業委員13番佐野和枝より、ご報告いたします。 詳細につきましては、議案書記載のとおりであります。 この案件につきましては、相続税の納税猶予の特例の適用を受けている申請人が、引き続き納税猶予の適用を受けるため、納税猶予の継続届出書を税務署に提出する際に必要な証明となります。 調査月日は、9月13日午前10時より、担当委員3名が申請書記載内容について確認や現地調査等を実施した結果、対象農地の譲渡や違反転用、遊休化等もなく、適切に管理されていることを確認し、何ら異議無いものと認められましたのでご報告いたします。</p>
<p>議長（会長職務代理者）</p>	<p>南四合・町北班担当委員からの調査報告が終わりました。 本件について、ご質問等ございませんか。</p> <p>（なし の声あり）</p>
<p>議長（会長職務代理者）</p>	<p>それではお諮りいたします。議案第42号 租税特別措置法第70条の6第1項の規定に基づく「引き続き農業経営を行っている旨の証明書」及び「引き続き特定貸付を行っている旨の証明書」を交付することにご異議ございませんか。</p> <p>（異議なし の声あり）</p>
<p>議長（会長職務代理者）</p>	<p>満場ご異議ないものと認めます。 よって、議案第42号については、租税特別措置法第70条の6第1項の規定に基づく「引き続き農業経営を行っている旨の証明書」及び「引き続き特定貸付を行っている旨の証明書」を交付することと決せられました。</p>
<p>議長（会長職務代理者） （利用集積推進部長） 渡邊直也委員</p>	<p>次に、議案第43号 令和7年度農地等利用最適化推進施策の改善に関する意見書（案）について を議題といたします。 提出案件について、利用集積推進部長より説明を求めます。</p> <p>本日の総会資料の14ページ及び「別紙1」をご覧ください。 令和7年度農地等利用最適化推進施策の改善に関する意見書（案）についてであります。 この案件は、農業委員会等に関する法律第38条第1項の規定に基づき、会津若松市長に対して「令和7年度農地等利用最適化推進施策の改善に関する意見書」を提出するものです。 このことについては、利用集積推進部等における協議を経て、先月、第8回全員協議会において「令和7年度農地等利用最適化推進施策の改善に関する意見書（案）」をご提示し、委員の皆様にご意見を追加・修正について聴取を行ったところ、特に意見等は出されなかったことから、本総会の議案第43号として上程いたしました。 なお、本総会で議決をいただければ、会津若松市長に対し意見書を提出するとともに、会津若松市議会議長に対し意見書に係る支援を要請することとしております。</p>
<p>議長（会長職務代理者）</p>	<p>意見書の提出、支援要請にあたっては、例年どおり、渡部会長、佐々木会長職務代理者、折笠農地部長、室野井遊休農地対策部長、私、利用集積推進部長の渡邊及び事務局職員により対応したいと考えておりますので、ご了承願います。 提案理由の説明は以上でございます。</p>
<p>議長（会長職務代理者）</p>	<p>利用集積推進部長の説明が終わりました。 本件について、ご質問等ございませんか。</p> <p>（なし の声あり）</p>
<p>議長（会長職務代理者）</p>	<p>それではお諮りいたします。議案第43号 令和7年度農地等利用最適化推進施策の改善に関する意見書 については、原案のとおり決定し、市長及び市議会議長に提出することにご異議ございませんか。</p>

議長（会長職務代理者）	<p>（異議なし の声あり）</p> <p>満場ご異議ないものと認めます。 よって、議案第43号 は原案のとおり提出するものと決せられました。 なお、市長への意見書の提出につきましては、利用集積推進部会長より報告がありましたとおり、役員で対応してまいります。</p>
議長（会長職務代理者）	<p>次に報告に移ります。 報告第25号 農地法第3条の3の規定による届出の受理について、報告第26号 農地法第4条第1項第7号の規定による農地転用届出の受理について、報告第27号 農地法第5条第1項第6号の規定による農地転用届出の受理について、報告第28号 各種証明に係る交付事務については、事務局より報告願います。</p>
農業委員会事務局	<p>報告第25号、農地法第3条の3の規定による届出の受理について、ご報告いたします。 届出の詳細は、議案書に記載のとおりであります。 これらの12案件につきましては、すべて相続により権利を取得したものであり、届出内容について審査した結果、受理相当と認められましたので、市農業委員会処務規則第7条第1項により事務局長が専決処分し、同条第2項により報告するものであります。 次に、報告第26号、農地法第4条第1項第7号の規定による届出の1番から2番について、報告いたします。 届出の詳細は、議案書記載のとおりです。 これらにつきましては、書類審査の結果、受理相当と認められましたので、市農業委員会処務規則第7条第1項の規定により事務局長の専決処分とし、同第7条第2項の定めにより報告するものであります。 なお、都市計画法上としまして、備考欄の留意事項のとおり意見が付されております。 次に、報告第27号、農地法第5条第1項第6号の規定による届出の受理について、報告いたします。 届出の詳細は、議案書に記載のとおりであります。 これにつきましては、書類審査の結果、受理相当と認められましたので、市農業委員会処務規則第7条第1項により事務局長が専決処分し、同条第2項により報告するものであります。 なお、都市計画法上の留意事項といたしまして、備考欄のとおり意見が付されております。 報告第28号、各種証明に係る交付事務についてであります。 詳細につきましては、議案書に記載のとおりであります。 これらの2案件につきましては、福島県現況確認証明書等交付事務取扱要領の規定に基づき、農地の権利の設定・移転及び地目変更に係る登記手続等のため証明書を交付するものであり、事実と相違ないことを確認できたことから、市農業委員会処務規則第7条第1項により事務局長が専決処分し証明書の交付を行い、同条第2項により報告するものであります。</p>
農業委員会事務局（局長）	<p>報告でございます。ご了承願います。 以上をもって、本日の会議日程は全部終了いたしましたので、これにて閉会といたします。</p> <p>（午前9時35分 閉会を宣言する。）</p>

この議事録は、事実と相違ないことを認め、署名する。

令和6年11月20日

会津若松市農業委員会 会長	渡 部 政 美
農業委員11番	渡 部 一 夫
農業委員12番	折 笠 康 裕